

中国知的財産権



ニュースレター

中国国際貿易促進委員会特許商標事務所

2021年第8号(全78号)

2021年8月27日



〒100031 中国

北京市西城区復興門内大街 158 号

遠洋大厦 10 階

TEL : +86-10-66412345

FAX : +86-10-66415678/10-66413211

E-MAIL: mail@ccpit-patent.com.cn

〒107-0052 日本

東京都港区赤坂 1-9-13

三会堂ビルディング 3 階

TEL : +81-3-5572-6686

FAX : +81-3-5572-6687

E-MAIL: Tokyo@ccpit-patent.com.cn

www.ccpit-patent.com.cn

目次

国家知識産権局が知的財産権に関する基礎データの開示範囲を拡大、サービスの品質を改善	2
最高裁判所が 28 回目の指導的判例を公布	3
知的財産権保護センターが専利の迅速な権利確認関連業務を拡大	5
種子法改正案（草案）が第一回審議に提出 植物新品種の知的財産権保護を強化	6
AI・IoT・ビジネスモデルの関連情報	7

国家知識産権局が知的財産権に関する基礎データの開示範囲を拡大、サービスの品質を改善

知的財産イノベーション環境を整備し、人々及びイノベーション主体の知的財産権データに対するニーズを満たし、データ取得の利便性を高め、知的財産権公共サービスのレベルを向上させるため、2021年7月15日より、中国国家知識産権局が専利データサービス試行システム（以下、試行システムという）に知的財産権に関する基礎データ 10 種類を追加開示した。

具体的には、中国集積回路レイアウト設計専有権に関する公告データ、中国集積回路レイアウト設計専有権の登録情報に関する公告データ、中国集積回路レイアウト設計占有権の終了に関する公告データ、中国集積回路レイアウト設計の不服審判取消に関するデータ、日本専利の法的状態及び引用文献（2種類のデータ）、韓国専利の法的状態、EP 専利の法的状態、韓国専利の法的状態コードの説明、韓国専利の引用文献であり、試行システムを利用してダウンロードできるデータは 44 種類に増えた。詳細は同システムの『データリスト』を参照されたい。また同時に、ユーザーエクスペリエンスを向上させるため、データダウンロードの帯域幅が 60Mb/s から 100Mb/s に拡張された。試行システムとデータ使用電子合意書は適切に調整されており、詳細はシステムの『知的財産権データ使用合意書』を参照されたい。

http://www.cnipa.gov.cn/art/2021/7/15/art_75_165914.html

最高裁判所が 28 回目の指導的判例を公布

先頃、中国最高裁判所が 28 回目の指導的判例 6 件を公布した。6 件はすべて知的財産権にかかわるもので、各階級の裁判所にとって類似案件を審理する際の参考となる。

指導的判例 157 号の「左尚明舎家庭用品（上海）有限公司と北京中融恒盛木材産業有限公司、南京夢陽家具販売センターの著作権侵害紛争」の判決は、応用美術品が美術作品として著作権法によって保護を受けるための要件と境界を明確にした。中国の現行の著作権法第 3 条第 9 号は、作品には「作品の特徴に符合するその他の知的成果」が含まれると規定しているが、美術品の保護方法と範囲は明確にしておらず、ベルヌ条約や国際慣行では応用美術品を美術作品として保護している。同判決は、応用美術品は美術作品として著作権法によって保護を受けることができると明確にし、更には著作権法の保護対象は応用美術品の芸術性であり、実用性ではないことを明確にした。この案件は非常に典型的であり、現段階の応用美術品の権利侵害の認定に重要な指導的意義を持つものである。

指導的判例 158 号の「深セン市衛邦科技有限公司と李堅毅氏、深セン市遠隔インテリジェント装置有限公司の専利権帰属紛争」は、専利法とその実施細則の規定に基づき、実施細則第 12 条第 1 項規定の「関係発明」の理解方法、適用について正確に解釈し、4 つの方面の総合的な考量要素を明確にした。職務発明関連の専利権の帰属紛争は職務上の科学技術成果の帰属にかかわり、同判決で明確にされた裁判規則は関係者の利益のバランスを重んじ、裁判基準を統一し、円滑で秩序ある労働力の流動の促進、自主イノベーションの法的環境の改善に資するものである。

指導的判例 159 号の「深セン敦俊科技有限公司と深セン市吉祥騰達科技有限公司などの発明専利権侵害紛争」は、発明や創造を奨励し、科学技術の進歩を促進するという専利法の立法趣旨に従い、新たな技術分野の特徴を十分に考慮に入れ、インターネット通信分野の方法専利にかかわる権利侵害の判定基準を明確にし、知的財産権の司法裁判が科学技術の発展法則を尊重し、知的財産権に対する実質的な保護を目的とするという価値基準を示した。また、権利侵害損害賠償額算出における立証責任の配分規則の適用を明確にし、権利侵害の規模という基本的事実が損害賠償額算出において中心的な位置を占めることを強調し、訴訟の双方が権利侵害賠償額の算出について実質的な抗弁を行うよう指導、促進した。同案件はインターネット通信分野における方法専利の権利侵害裁判基準の統一、専利権の保護範囲の公平で合理的な拡大に重要な指導的

意義を持っている。

指導的判例 160 号の「蔡新光氏と広州市潤平商業有限公司の植物新品権侵害紛争」は、蜜柚の果実は繁殖材料となるかどうかに係争の焦点であった。裁判の要旨は植物新品種権紛争における権利侵害認定の各段階をめぐり、植物新品種権の保護範囲の確定及び状況別の権利侵害行為の判断基準を明確にし、権利者の権利保護行為の規範化、訴権の濫用と意味のない紛争の抑止、品種権者の合法的権益の保護に重要な指導的な意義を持っている。

指導的判例 161 号の「広州王老吉大健康産業有限公司と加多宝（中国）飲料有限公司の虚偽宣伝紛争」は、案件にかかわるキャッチフレーズが虚偽宣伝に当たるかどうかの判断において、日々の生活での経験をよりどころとし、関連大衆の一般的な注意力を基準として、係争キャッチフレーズが一方的なものであるかどうか、多義であるかどうか、容易に関係大衆に誤解させるかどうかなどの問題について分析し、虚偽宣伝行為の認定の立脚点と基準を明確にした。また、案件の具体的状況と結びつけて宣伝対象となる商品と商標の実際の状況を考慮に入れ、係争キャッチフレーズが他人の商品の信用を不正に利用したかどうかについて論じた。その上で、係争キャッチフレーズを使う合理的な時期と範囲などについても市場の実情に合う評定を下し、競合他社の合法的な権益を保護すると同時に、市場競争環境に対する更なる保護、浄化にも資するものである。

指導的判例 162 号の「重慶江小白酒業有限公司と国家知識産権局、第三者の重慶市江津酒造工場（集団）有限公司の商標権無効審決行政紛争」は、商標法第 15 条の適用にかかわり、広範的な注目を浴びていた。各方面の要素を総合的に考慮した上で、係争商標の出願日以前は「江小白」商標は江津酒造工場の商標ではなく、係争商標の出願、登録は 2001 年改正の商標法第 15 条の規定に違反していないと認定され、それによりブランドのイノベーションを効果的に保護でき、良好な法律効果と社会的効果を収めた。

<http://www.court.gov.cn/zixun-xiangqing-316481.html>

知的財産権保護センターが専利の迅速な権利確認関連業務を拡大

知的財産権保護センターの迅速な審査、迅速な権利確認、迅速な権利保護を一体化した「ワンストップ」知的財産権保護サービスをさらに強化し、「迅速な審査から迅速な無効審判、迅速な不服審判、迅速な権利確認及び迅速な権利保護までの全段階の業務の拡大」要求を実施するため、先ごろ中国国家知識産権局は専利の不服審判・無効審判案件のマルチモード審理に着手し、迅速な権利確認業務の拡大の強化を開始した。

中国（北京）、中国（浦東）、中国（南京）、中国（浙江）の四カ所の知的財産権保護センターが試行作業を行い、一年間の試行期間中に専利の不服審判・無効審判案件の優先審査、専利無効審判案件の遠隔審理を展開し、専利権確認案件と行政裁決案件の共同審理などの作業を進める。

保護センターの重点的な新規業務として迅速な権利確認が着実に進められ、前期は一部のセンターで実用新案と意匠の専利権の評価報告試行業務が展開されている。今後国家知識産権局は保護センターの機能を更に拡大し、全面的な保護能力を強化し、ジェネラリストの育成を強化して、良好な経営環境の構築、経済の高品質の発展をより適切にサポートする。

https://www.cnipa.gov.cn/art/2021/8/6/art_53_166532.html

種子法改正案（草案）が第一回審議に提出 植物新品種の知的財産権保護を強化

8月17日、第13期全人代常務委員会第30回会議で全人代農業及び農村委員会の劉振偉副主任による種子法改正案（草案）についての説明のヒアリングが行われた。

種子法改正の理由について、劉振偉氏は、全体的に見て、我が国の種子産業の知的財産権保護にはまだ不備があり、植物新品種の知的財産権保護の強化、育種イノベーションの奨励、食糧の安全保障という新しい状況への適応が難しいため、種子法の改正により、植物新品種の知的財産権保護範囲を拡大し、保護段階を拡張し、保護レベルを向上させ、保護を強化して、制度を活用して本来のイノベーション活力を刺激することが急務であると説明した。

また、主な改正内容も紹介された。一、植物新品種権の保護範囲と保護段階が拡大された。草案は、保護範囲を権利付与品種の繁殖素材にとどまらず、収穫物まで拡大し、保護段階を生産、繁殖、販売に限らず、生産、繁殖、加工（繁殖目的の種子処置）、許諾販売、販売、輸入、輸出、保存などまで拡大している。二、実質的な派生品種制度を確立した。育種イノベーションを奨励し、種子の均質化という重要問題を抜本的に解決するため、草案は、実質的な派生品種制度を確立し、実質的な派生品種は植物新品種権の申請や取得が可能であること、但しそれを商業目的で利用する場合、原品種の植物新品種権所有者の同意を得なければならないことを明確にしている。三、権利侵害賠償制度を改善した。植物新品種権侵害行為への抑止力を強化するため、懲罰的賠償額を引き上げ、権利者の損失又は権利侵害者の利益又は品種権許諾使用料が確定できる場合は賠償額の上限を3倍から5倍に、確定できない場合は賠償限度額を300万元から500万元としている。四、法的責任を追加した。草案は、繁殖させる種子の隔離・育成条件を備えず、無検疫有害動物の種子生産場所又は県レベル以上の人民政府の林業草原主管部門に認定された種子採取林を有せずに種子を生産し、種子検査・検疫規則に従わずに種子を生産した場合、法的責任を追及すると明確にしている。

<http://www.npc.gov.cn/npc/c30834/202108/49e97e9bb8224c3ba047e42309141683.shtml>

AI・IoT・ビジネスモデルの関連情報

国際的影響力を持つ医学誌『The Lancet』が 中国の網膜 AI アルゴリズムを賞賛、その精度は医療専門家に匹敵

広州の中山大学眼科センターの林浩添教授のチームが医療用 AI 分野のリーディングカンパニーである鷹瞳 Airdoc などと共同で行った「AI 多種網膜疾患診断支援システム」の研究が世界トップレベルの医学誌『The Lancet Digital Health』に掲載された。研究結果によると、この診断支援システムは、実際の臨床検証において安定した疾患認識能力を示しており、その精度は医療専門家に匹敵することが実証されている。

また、同誌同号には、ウィスコンシン大学マディソン校の画像診断センター（世界的な眼科画像診断センター）の Amitha Domalpally 主任の解説が掲載されており、今回の研究は「医療用 AI の研究がまさに正しい方向へ進んでいることを示している」と述べられている。

関係者によると、同研究チームは全国調査を行い、疾患分布や診療レベルの異なる 16 の医療機関が提供した 20 万枚以上の網膜画像を使用し、14 の一般的な眼底異常を同時に識別できる AI 多種網膜疾患診断支援システムを構築した。糖尿病や高血圧などの全身性疾患の眼症状、緑内障、病的近視、網膜静脈閉塞症、網膜剥離などの視力に障害を残す 12 の異常が含まれている。広州の中山大学眼科センターを始めとする 16 の医療・研究機関がこのシステムに対して検証・分析を行い、その結果、AI 多種網膜疾患診断支援システムは、医療シーン、人種、眼底撮影装置の異なる臨床環境において、14 種類の一般的な眼底異常を正確に識別でき、その精度は医療専門家に匹敵することが示された。

<http://www.chinanews.com/jk/2021/08-01/9533994.shtml>

「スポーツ+テクノロジー」融合： ビッグデータとAIがスマートスポーツを生み出す

先頃、記者はヒューマンパフォーマンス&ヘルス発展センター(Performance and Health Development Center、以下、PHD という)で、Dell が中国のボートとカヌーのナショナルチームのために開発した統合的なインテリジェントトレーニング支援システムを体験した。関係者によると、このシステムは、AI を用いたスポーツ生体力学分析モデル、Dell SDP ストリーミングデータプラットフォーム、GPU ハイパフォーマンスコンピューティングをベースに開発された、エッジストリーミングデータ処理と AI ソリューションである。

このシステムはアスリートたちの競技レベルをどのように向上させるのか。Dell はどのように PHD と協力して、スポーツ業界のデジタル化への変革を推進したのか。テクノロジーに支えられたスポーツ業界の発展趨勢はどのようなものか。これらの質問に対し、Dell と PHD の責任者にインタビューを行った。

インテリジェントトレーニング支援システムを構築

Dell 中国研究院シニア・ディレクターの科学者・李三平氏によると、ボートとカヌーのナショナルチームのトレーニングをより科学的かつインテリジェントにするために、Dell R&D センターの科学者たちは、Dell のハードウェア・ソフトウェアソリューションに AI を重ね合わせたリアルタイム支援システムを開発した。具体的には、このシステムは、アスリートたちのトレーニング動作を動画でリアルタイムに撮影し、分析・判断することで、アスリートのトレーニング動作の角度、強度と安定性の偏差を修正し、トレーニングレベル・競技レベルの向上をサポートするものである。

体験した際に、アスリートがこのシステムを使用してシミュレーショントレーニングをしている時に、ストロークレート、呼吸回数、筋力、姿勢など、さまざまな数値がリアルタイムにスクリーンに表示されるのが分かった。アスリートはスクリーンに表示される情報を基に、トレーニング状況やストロークレートなどを調整することができる。これにより、アスリート一人ひとりのトレーニングデータをより正確に分析し、より科学的なトレーニングプランを立てることができる。

しかし、インテリジェントトレーニング支援システムの開発には、紆余曲折があった。Dell 中国 R&D グループ上海会社の陳春曦社長は、「当初はチャレンジや問題に直面していた。ご想像いただけるように、技術開発者が IT 用語ばかりを使用する一方、アスリートはボート用語を使用するので、我々が作ったものと専門家の要求にはギャップがあった」と認めた。そこで、Dell の R&D

チームは、エンジニアにコーチやアスリートと一緒に生活をさせるようにした。陳春曦社長は「非常に緊密にコミュニケーションをとることで、ようやく業界用語や専門用語を理解できるようになった。エンジニアはスポーツを本当に理解してこそ、技術をうまく活用することができる」と語った。

ビッグデータとAIの共同ラボを立ち上げ

これまでのコラボレーションに加え、先頃、Dell、中国ボート協会、中国カヌー協会、PHDは共同建設した「ビッグデータとAIの共同ラボ」の落成式を開催した。ラボの名称について、陳春曦社長は「AIとは、AIを活用して分析を行うことを意味する。ビッグデータの面において、Dellはエッジコンピューティングからデータセンターまで、完全なビッグデータシステムを構築している。アスリートたちのトレーニング、リハビリ、食事などのデータについて、我々は総合的な分析を通してアスリートのレベル向上をサポートする」と紹介した。

今回のコラボレーションについて、中国ボート協会科学研究の総括責任者である資薇氏は、「Dellは三つの難題を解決してくれる。第一はデータ取得の精度の問題である。Dellはこの問題を解決し、開発初期段階で、AIに基づく身体の姿勢・動作を収集するシステムを開発した。このシステムは基本的にオートメーション化されており、カメラが人の運動軌跡を表示することができ、関節の角度などのデータも自動的に収集できる」と語った。

第二は迅速なフィードバックである。同氏は「ほとんどすべてのスポーツがこの問題に直面している。なぜならスポーツの技術教育とトレーニングはリアルタイムのフィードバックではなく、トレーニングが完了した後のフィードバックに基づいて行っているからだ。Dellがリアルタイムのフィードバックシステムを完成したことで、アスリートはトレーニング中に様々な方法で自分の動作を見ることができるようになった」と述べた。

第三はデータ管理である。同氏は「人間の運動は複雑で、異なる機器や設備からさまざまなデータが記録される。これまでは人が処理を行っていたため、ミスも起こりやすかった。Dellはデータの管理・処理でトップレベルにあるので、アスリートたちのトレーニングデータや健康データの処理・管理システムの構築を依頼した」と紹介した。

スポーツ業界のデジタル化への変革を推進

また、DellとPHDは、共同研究開発の成果をより幅広い分野に広めることを期待している。関係者によると、PHDは、競技スポーツ分野において、Dellとの協力関係がボートやカヌーに留まらず、より多くの研究開発成果をほかの競技スポーツに応用することを望んでいる。今後、インテリジェントトレーニ



ング支援システムは、アスリートのライフサイクル全体にわたりスポーツトレーニングと身体能力の詳細な記録となり、アスリート育成の重要な参考として活用されることが見込まれる。

<http://ent.people.com.cn/n1/2021/0806/c1012-32184469.html>